

理念

生命を安心して預けられる病院 健康と生活を守る病院
「あなたとあなたの家族によりそう」「安全 快適 自己実現」



医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院

広
報
誌

よりそう

vol. 39

いつでも、どこでも、誰でもが、
最善の医療を受けられる社会を目指して

医療法人
徳洲会の理念

“生命を安心して預けられる病院”
“健康と生活を守る病院”

徳洲会グループは
「生命だけは平等だ」の理念の下、
「いつでも、どこでも、誰でもが最善の医療を
受けられる社会」を目指しています。



一刻一秒を争う救急医療は、医療の原点と言えます。



年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。
謹んで新春をお祝い申し上げます。

仙台徳洲会病院 病院長 井上 尚美



新年明けましておめでとうございます。

当院は、昨年同様に一般診療に加えて救急医療、専門医療、予防医療にも積極的に取り組んでいきます。院長就任時に掲げた基本方針のもとに『信頼』を大事にしたいと思っています。今年も仙台徳洲会病院は、地域医療機関との『信頼と連携』を築き、患者様が安心して受診でき、信頼される病院を目指します。

近年地域における患者様の高齢化は進んでいます。高齢の患者様は多臓器に疾患を持つこと、認知症や社会環境問題を抱えていること、また治療に対する反応も個人差が大きく、合併症も発生しやすいなどの特徴があります。今後、高齢の患者様の多くの問題を解決するためには、医療従事者が情報を十分共有した上で、効率よく働く、チーム医療が重要と考えています。2024年度から「医師の働き方改革」が本格化しますが、医師だけではなく病院職員全体の働き方を改革し、多様性のある高齢患者様への医療を守りたいと思います。

これまでと同様、徳洲会病院の理念を基本に、医療安全、医療倫理、感染管理の3つを大切にしながら診療を行いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

皆様にとって良き年になりますよう祈念しまして、私からの年頭のご挨拶いたします。どうぞ本年もあたたかいご支援とご助言を心よりお願い申し上げます。

仙台徳洲会病院 看護部長

佐藤 裕恵



新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

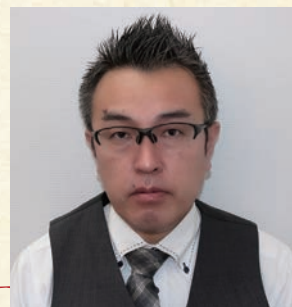
昨年、4月に井上院長が就任され、患者さん、地域、職員からの「信頼」を大切にする病院をめざすという方針が出されました。その中、コロナ感染症が5類へ変換、それに合わせ当院も病床運用を転換、複数の医師の入職にあわせ、新たな診療内容や変更など、看護部にも大きく影響した1年でした。

今年は新病院に移転し4月で3年目となります。私たち看護部も入院患者さん、地域で生活されている皆様の健康と生活を支えるべく地域の方々との連携強化と働き方改革に伴うチーム医療での体制整備などに取り組み、さらに看護の質向上をめざしたいと思います。

本年も、ご支援とご助言を賜りますようお願い申し上げます。

仙台徳洲会病院 事務長

片岡 隆行



新年明けましておめでとうございます。

昨年中は皆さまからの多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。令和4年4月に新築移転をさせていただき、2年目に突入いたしました。昨年、診療科も増えて診療体制が拡充されました。今後も引き続き診療体制の強化ができるように努めてまいります。

今年は、診療報酬改定と介護報酬改定や、医師の働き方改革などの医療制度改革が実施され当院も含め医療業界全体が大きく変容していく年になると考えられます。まだまだ、至らないところなどございますが、引き続き、地域医療に貢献できるように努めてまいりますので、今後も、ご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

日帰り手術センター



手術の当日に来院して、当日または翌日の午前中に帰宅できる手術（日帰り手術）の手続きを受け付けており、術後にゆっくりと休んでいただけるリカバリールームを備えています。

透析室



15床から30床に増床し、これまでより多くの透析患者さまの受け入れが可能となりました。また、新システムを導入し安全性を確保することで安心して透析ができるように環境を整えております。

化学療法室



2面採光の非常に明るい作りとなっております。電動リクライニングチェア7床、ベッド3床の計10床で、看護師が常駐するカウンターを囲むように配置されており、患者さまは希望するところで快適に安心して治療を受けることができます。

予防医学センター

病気をみつける健診から健康をみる健診へというコンセプトで病気の早期発見だけでなく、健康の状態をみる種々のオプション検査、並びに抗加齢ドックなどを準備し病気になる前の段階からの介入を行っています。



無痛MRI乳がん検診のような、最新の医療機器を用いた、患者様のお身体に負担の少ない検査もご提案しております。

病棟

新病院ではセル看護提供方式を行い、患者さまの近くで看護実践を行います。タイムリーな観察・対応、コミュニケーションを図り、安心・安全な看護を提供します。当院の看護部理念である「心に届く看護を実践する」を目指します。



ヘリポート

病院で新たに設置した屋上ヘリポートからの救急搬送にも対応し、救急医療体制を更に強化していきます。





仙台市消防局さんと防災ヘリ引き継ぎ訓練を行いました。

10月13日に仙台徳洲会病院ヘリポートにて仙台市消防局さんと、防災ヘリ発生を想定した引き継ぎ訓練をERの医師、看護師、救急救命士などの医療スタッフとともに行いました。

今回は、去年度から引き続き2回目の開催となりました。去年は、雨で1回のみの飛行で中止となり、リベンジも兼ねた2回目の今年。訓練当日は天気がよかったですが…風が強く、飛ばされそうでした。

① 訓練前のミーティングを行いました。

3回の飛行訓練を予定していて、患者設定と飛行順番や一連の流れをみんなで把握し、ヘリでの注意点も事前に話し合い、徐々に訓練に向け緊張感が増していきました。



② まずは、仙台市消防局の方による搬送までのデモンストレーションを見学



③ つづいて、職員も防災ヘリに乗り込み、搭乗訓練。



普段では経験できない防災ヘリに同乗し、機内はほとんど声が聞こえないためコミュニケーションの取りづらさを実感しました。

4 ヘリポートに到着してからERへの移送訓練

仙台徳洲会病院スタッフが、それぞれ医師役、看護師役、患者役に分かれて搬送を想定して訓練を行いました。到着待機中は、強風で危険な為、モニターインターフォンにて様子を確認しました。



5 医療従事者へ患者引き継ぎ訓練

防災ヘリから到着後、患者引き継ぎはヘリポート待機室にて行いました。



実際に想定した訓練のため、患者設定も詳しくあり緊迫した状態で訓練に参加できました。

防災ヘリって何だろう…。

→防災ヘリは、山岳救助や水難救助等の救助業務だけでなく、ドクターヘリが出勤していて対応困難時の救急業務も行っています。

訓練に参加して



患者様を安全かつ迅速に引き継ぐためにはどのようにしたらよいか改めて学ぶことができました。また、ヘリ内は揺れるため処置等行う場合には技術向上していかなければならないと感じました。救急車搬送と比べ、ヘリでの搬送は搬送時間が短縮できるため、当院に搬送された後の対応を私たちがどれだけ早く、的確に行う事が重要だと感じました。当院でのヘリ搬送を受け入れられることは、地域医療の発展に大きく影響していると考えられました。この訓練を今後の防災ヘリ発生時に活かしていきます。

訓練を開催して頂いた、仙台市消防局の皆さんありがとうございました。

仙台徳洲会病院を受診される皆様へ 重要なお知らせ

「選定療養費」について

当院は令和5年8月1日付けで宮城県より「紹介受診重点医療機関」として公表されました。

紹介受診重点医療機関には「選定療養費」の徴収が義務付けされているため、当院においても紹介状をお持ちでない場合は、**令和6年2月1日（木）**より、下記の選定療養費を徴収させていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

初診時

紹介状を持たずに当院を初診で受診される場合、保険診療分とは別にご負担いただく費用

令和6年2月1日より **医科 7,700円（税込）** **歯科 5,500円（税込）**

再診時

病状が安定し、当院担当者が「かかりつけ医」への紹介を申し出た後も当院を受診される場合に、保険診療分とは別にご負担いただく費用

令和6年2月1日より **医科 3,300円（税込）** **歯科 2,090円（税込）**

「紹介状」ご持参のお願い

病気かな？と思ったら、まずは近くの「かかりつけ医」にご相談ください。かかりつけ医とは、日常的な診察（風邪やケガなどの初期治療、慢性疾患の投薬など）や健康管理を行う診療所・クリニック等のことをいいます。

当院は紹介受診重点医療機関として、かかりつけ医との役割分担により、専門的な検査や入院治療、救急医療等を必要とする患者さんの治療を担います。一人でも多くのこのような患者さんの診療ができるよう、日常的な診察はかかりつけ医を受診していただき、かかりつけ医が専門的な検査・治療が必要と判断した際は、紹介状をご準備いただき、ご持参のうえ、当院を受診していただきますようお願いいたします。

「医療機関の機能分担」へのご理解とご協力をお願いいたします。

〔お問い合わせ先〕 「受付」、または「入退院患者サポートセンター」まで

基幹型臨床研修病院の役割

当院は、厚生労働省より基幹型臨床研修病院の指定の元、現在は初期研修医2年次2名・1年次5名を受け入れており、臨床研修協力病院・施設と連携した研修プログラムを充実させ、患者さまに対して、安心でより質の高い医療を行える医師を育成してまいります。基幹型臨床研修病院の責務として、地域における中核的医療機関として更なる充実に努めて参りますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

 医療法人徳洲会 **仙台徳洲会病院**

〒981-3116 宮城県仙台市泉区高玉町9-8
TEL: 022-771-5111(代表) FAX: 022-771-5100
HPアドレス <https://sendai.tokushukai.jp/>

2024年（令和6年）1月発行

医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院 広報誌

編集・発行：仙台徳洲会病院 広報委員

印刷所：モリタ印刷株式会社



仙台徳洲会病院
看護部



臨床研修
センター



広 報

